

ひょうご 男女共同参画ニュース



令和2年度兵庫県予算案 ～男女共同参画社会づくりの推進～

県は2月17日、令和2年度当初予算案を発表しました。一般会計は前年度当初比602億円増の1兆9,956億円となっており、第347回定例県くすべての女性の活躍>

議会での議決を経て成立します。男女共同参画に関連する予算のうち主なものは、以下のとおりです。

<仕事と生活の両立支援>

■ひょうご女性の活躍推進事業(12,976千円)

女性活躍の促進を図るため、様々な分野で活躍する女性や経済団体等と連携・協働し、社会全体の気運醸成を図るとともに、職場における意識改革や女性登用につながる研修等を実施。

■構成団体との連携による女性活躍の推進(1,000千円)

女性活躍の促進を図るため、関係団体と連携して企業経営者等への働きかけを行う他、女子大学生の就職やキャリアデザインの意識を高めるための啓発を支援。

■女性活躍推進のためのネットワークづくり推進(7,537千円)

働く女性が職種の枠を越えて情報交換を行う場づくりを支援するため、異業種交流会を開催する他、フォーラムやホームページ等において、県内企業における女性活躍の状況を発信する。

■女性の就業サポート事業(18,759千円)

再就業等を希望する女性を支援するため、個別相談やハローワークと連携した職業紹介等を県立男女共同参画センターの女性就業相談室で実施。

■(拡)女子学生と企業のプレマッチング支援事業(6,369千円)

女子学生に対し、就職活動前からライフプランを考慮したキャリアプランニングに取り組むことを支援し、女性の就業を推進。

■女性起業家への支援(66,000千円)

地域経済の活性化を図るため、有望なビジネスプランを有し、県内で起業を目指す女性起業家を支援。

■ものづくり分野における女性就業の促進(3,000千円)

人手不足解消、ダイバーシティ経営による競争力の強化を図るため、最大の潜在力である女性のものづくり分野への就業を促進。

■(拡)ひょうご仕事と生活センター事業(209,027千円)

ひょうご仕事と生活センター及び地域拠点において、企業等におけるワーク・ライフ・バランスの取組を支援し、誰もが働きやすい職場環境を創出。

■中小企業育児・介護等離職者の再就職支援(46,500千円)

育児、介護等による離職者の早期再就職を促進するため、当該離職者を雇用した事業主に助成。

■中小企業育児・介護代替要員の確保支援(200,000千円)

中小企業における育児・介護休業等の利用促進のため、代替要員の賃金の一部を助成。

<互いに支え合う家庭と地域>

■地域祖父母モデル事業(9,360千円)

会員登録した特定の子育て世帯とシニア世帯同士をマッチングし、シニア世帯が日常的な見守りや相談、緊急時の一時預かり等を行い、地域における擬似的な三世代家族の育成を推進。

<安心して生活できる環境の整備>

■(拡)DV防止対策(25,819千円)

関係機関や民間支援団体との連携により、被害者の保護・自立支援を強化。

<次世代への継承>

■(拡)出会い・結婚支援事業(136,314千円)

進行する未婚化・晩婚化に対して、出会いイベント・個別お見合い紹介等を通じて独身男女の出会い・結婚を社会全体で支援。



※(拡) : 拡充事業



イーブン事業報告

令和元年度ファシリテーター養成基礎講座を開催しました（2/18、25）

2月18日（火）、25日（火）の二日間、特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会・関西支部長の水江泰資（みずえひろよし）さんを講師にお迎えし、ファシリテーター養成基礎講座を開催、第23期男女共同参画アドバイザー養成塾の修了生を中心に20名が参加しました。

一日目は、ファシリテーションを団体等の円滑なコミュニケーションを促進し、活動目的の設定、目標の明確化、活動の維持等の技法として位置づけ、ファシリテーションが活用される分野、ファシリテーターのあり方等の基本的知識の導入を行いました。特に、地域社会や非営利団体でのファシリテーションには、コミュニケーションの



<水江講師>

維持に費やすエネルギーが格段に求められる等、的確な解説がなされ、地域リーダーとしての活躍が期待されるアド塾修了生に求められるファシリテーターの資質として、地域社会の潜在的能力の引き出し役として求められる愛、正

義感、使命感等の必要性が強調されました。

二日目は、ファシリテーター8か条としてワークショップ運営の基本を復習し、その後、ファシリテーションの演習を行いました。課題解決に取り組むグループのファシリテーションの状況を別のグループが観察し、一日目に学んだ①目標の設定、②場のデザイン、③時間管理等の基本的な知識やスキルが活用されているか等について、フィードバックするという演習でした。

参加者からは「演習が楽しかったです。夢中になってしまい、場をデザインするプロセス、時間管理が抜けてしまいがちだったことが反省点です」「将来、自分もファシリテーターとして活躍したいと思いました」等、高い満足感と併せて、多くの気づきがあったことがうかがえました。



（問）男女共同参画センター 078-360-8550



男女共同参画推進員地域ブロック事業紹介

但馬地域 人としてどう生きるか？（2/2）

養父市子育て・移住サポートセンターにおいて、養父市男女共同参画推進員の林田潤（はやしだじゅん）さんが「自分は何を、誰に、どこに残していく存在なのだろう？」をテーマに、自らの経験を踏まえて「一人ひとりが自由に人生を動かせる」「組織の力で男女共同参画ができる」の視点から講演しました。前半、パキスタン滞在時に会ったスラム街の少女とのエピソードでは、世界にはやる気があっても働けない人が大勢おり、応援し合える文化をつくる必要性が述べられました。後半では、企業などの組織において、女性が管理職になれないことが問題にされる中、管理職が存在しないフラットな組織も現れてきており、就業者の良さを生かすリーダーシップや、自分と周りを生かせるマネジメントを身につける必要性に言及されました。最後に、「人生の主人公は自分」とのメッセージで締めくくられ、参加者からは「一期一会、やる気を持つ、助け合うことの大切さを学ぶことができた」等のコメントが寄せられ、充実した講演会となりました。

（問）男女共同参画センター 078-360-8550

神戸地域 女らしくなく、男らしくなく、自分らしく！（2/17）

露の団姫さん（落語家・天台宗僧侶）をお迎えし、第一部では落語「地獄八景亡者戯」を熱演して頂きました。第二部の講演では、幼少期の「死」への恐怖から仏教を学び始めたこと、落語家になるか尼さんになるかの葛藤、夫婦別姓を選択した結婚についてなど、「自分らしく」生きることをひたむきに追及してこられたご自身の半生を語られ、「自分が選んだ生き方を一所懸命に生きる」という揺るぎない信念に感銘を受けました。団姫さんの明るい笑顔と、優しい語り口で会場は温かい雰囲気にも包まれ、とても楽しい講座となりました。参加者の方からは、「子育てやお墓の問題で悩んでいたが視野が開けた」という声や、「ジェンダーの差別なく平等に過ごせる社会になれる学びがたくさんあった」などの感想が寄せられました。



（問）男女共同参画センター 078-360-8550



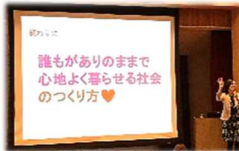
県内市町、企業の取り組み

LGBT+

～誰もがありのまま心地よく暮らせるように～ (2/8)

男性として生まれ女性として生きている当事者を講師にお招きし「自分の周りにいないから…」という理由で生じる偏見や差別をなくすため、まずは、LGBTの実態を知ってもらう講演会を開催しました。講師のよだかれんさんは、ミュージカルダンサー/ショーダンサーを経て、行政書士、政治家として活躍されている方で、お話が参加者目線でわかりやすく、参加者全員、楽しいお話に引き込まれていました。「自分は、周りの理解とともに、法律で戸籍変更も認められたから堂々と女性になれた。LGBTだけでなく、誰もが自分らしく生きていくには、周囲の理解と制度や法律の整備が両輪として必要」とのお話になりました。

参加者からは、LGBT間の差別や生徒への相対対応など深刻な質問も出ましたが「すごくわかりやすかった」「考えが変わった」との感想が寄せられました。



(問) 加西市ふるさと創造課 0790-42-8706

<市民企画講座>特定非営利法人 one village one earth

アフガニスタンの女性と子どもたち

～24年の活動を通して～ (2/16)

内戦1年目の1994年に59歳でアフガニスタンに入り、女性や子どものために様々な支援を続けて来られた西垣さん。女性の教育を禁じ、虐げられる身の不自由さを目の当たりにし、タリバーン時代の隠れ学校支援、女性教師への給料支援、大学の女子寮の建設など様々な支援を届けて来られました。戦争や内戦の過酷な地域での活動を支えてきたのは、西垣さんのアフガニスタンを愛する気持ちと西垣さんを慕う地元の人たち。「私たちも力になれることがあるかもしれない。何ができるだろう。」と考えさせられた講演でした。そして関心を寄せることの大切さを学びました。西垣さん最後の講演ということもあり、多くの方が参加してくださり、大盛況でした。



(問) 西宮市男女共同参画センター 0798-64-9495

◆◆令和元年(第4回)ひょうご女性活躍企業表彰 受賞企業紹介◆◆

～制度と風土両面から多様でスマートな働き方を実現し働きがいのある職場を実現～

- 会社名：日本イーライリリー株式会社（神戸市）
- 代表者：代表取締役社長 シモーネ・トムセン
- 事業内容：医薬品の開発、製造、販売
- 従業員数：3,100人（2018年12月末時点）
- URL：<https://www.lilly.co.jp/>



同社は140年以上前に米国で創設されて以来、「研究開発こそ企業の魂である」という理念を掲げ、数多くの革新的な医薬品を創出し医学の進歩の先駆けとなってきました。日本では1975年に日本イーライリリーを神戸に設立してから40年以上、革新的な医薬品をいち早く日本の患者さんに届けられるよう取り組んでいます。

顧客ニーズに対応する医薬品の開発には多様な視点が必要不可欠という考えのもと、トップがコミットし会社のビジネス戦略として会社全体でD&I^{※注1)}を推進。2004年から本格的に女性活躍に取り組む始め、Women's Network^{※注2)}など社員リソースグループの活動に支えられて発展。15年経った現在は、営業職を含む女性管理職比率が26%超と業界トップクラス。さらに女性活躍のみならず、障がい者やLGBT+、年齢や国籍を問わず多様な社員が安心して活躍できる職場づくりを

推進しており、社内では社員同士が多様な価値観を尊重して受け入れる風土、インクルージョンの醸成を進めています。

育児・介護などのライフイベントに関係なくキャリアを継続できる環境づくりとして、コアタイムのないフレックスタイム制度や利用条件のない在宅勤務制度を導入。また福利厚生プログラムの適応範囲を夫婦ではなく「パートナー」に拡大し、my キャリア制度^{※注3)}や社内公募制度など、仕事とプライベートを両立し自分らしいキャリアを形成しやすい仕組みを構築。役員個室は廃止しフリーアドレス制を導入するなど執務環境も改革し、様々な角度から「スマートな働き方」を実現。外部からも働きがいのある会社として認知されています。

※注1 D&I:ダイバーシティ&インクルージョン

※注2 Women's Network:女性社員有志が集り女性活躍のための活動を実施

※注3 my キャリア制度:営業職が理由を問わず勤務地を希望できる制度

(問) 男女家庭課 078-362-3160

★第10期男女共同参画推進員（地域）★ を募集しています!!

男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる男女共同参画社会をめざし、お住まいの地域で、あなたの経験やアイデアを活かして活動してみませんか？

- ◆応募資格 兵庫県内在住・在勤の成人男女で、地域において男女共同参画推進に向けた実践活動に取り組む意欲のある方。
- ◆任期 令和2年4月1日～2年間
- ◆委嘱 兵庫県知事の委嘱状をお渡しします。
- ◆処遇 ①推進員活動は無報酬です。②兵庫県ボランティア・市民活動災害共済に加入し、掛け金は県が負担します。
- ◆応募方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、当センターまで郵送・FAX・又は持参
- ◆応募締切 令和2年3月16日（月）
- ◆選考 応募申込書の記載内容を審査の上、選考結果を文書でお知らせします。

★イーブン情報図書室だより★

2019年に貸出回数が最も多かった図書を一点ご紹介します。

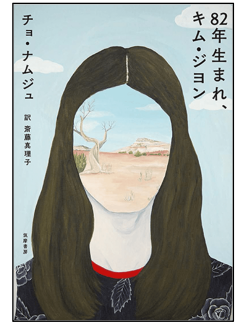
☆図書『82年生まれ、キム・ジヨン』

（チョ・ナムジュ著 2018年 筑摩書房）

家庭や学校、社会で、女だからという理由で受けてきた差別や困難を描き、男女間の葛藤を浮き彫りにした話題作です。

韓国ではその共感性の高さから、国内だけで100万部という異例の大ベストセラーとなりました。「# Me Too」ムーブメントに合流し、社会現象を巻き起こしたことで知られ、2019年10月に韓国で映画化されました。

大きな共感とともに、誰もが自分や身の回りの人と照らし合わせ、多くのことを考えさせられる一冊です。



※このページの詳細は、下記までお問い合わせください。

兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日	17:00～19:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (電話・面接とも要予約)	078-360-8554	毎月第1～4木曜日	10:00～13:00
女性就業相談室ハローワーク相談窓口	問い合わせ(電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00
不妊・不育専門相談(助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日	14:00～17:00
思いがけない妊娠SOS(助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日	10:00～16:00
	メール http://ninshinsos-sodan.com		随時受付。返信は原則として1週間以内	

ひょうご男女共同参画ニュース

令和2年3月号(Vol. 108) ※毎月1日発行

【編集・発行】 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン、兵庫県男女家庭課

【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター
TEL:078-360-8550 FAX:078-360-8558

【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00 / 土曜日 9:00～17:00 HP <https://www.hyogo-even.jp/>

【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始(12/28～1/4) Facebook <https://www.facebook.com/hyogo.even>

このニュースは、関係機関・団体や希望者に配信させていただくとともに、男女共同参画推進員がお配りさせていただいています。配信を希望される方は、上記にご連絡ください。